

## 学校経営方針

京都市立西院小学校

### 1. 学校教育目標

**自ら考え行動し，夢に向かって進む心豊かな子どもの育成**  
**～一人一人が輝く西院の子～**

知識基盤社会にあつて、あらゆる分野で情報化やグローバル化が進展する今日では、社会の多様化と急激な社会環境の変化により将来の予測が困難になっている。特に、絶え間ない技術革新とともに、人工知能（AI）は、飛躍的な進化を遂げており、近い将来人類の知能を超えるという指摘もある。人としての生き方が今以上に問われる時代を目前に控え、少子高齢化、人間関係の希薄化、子どもの貧困問題など、教育環境にも関わる多岐にわたる課題が顕在化している。

こうした時代を生き抜き、子どもたちが、自ら豊かな人生や社会を拓いていくためには、社会の変化や直面する問題に主体的に向き合い関わり合っていく力と同時に、他者と協働しながら問題を解決していこうとする能力が重要である。そのため、子どもたち一人一人のよさと可能性を伸ばし、新しい時代に求められる資質・能力を確実に育成することが求められている。

学校教育目標実現に向け、昨年度と同様に、児童一人一人の「自己指導能力の育成」をねらいとし、「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的な人間関係を育成する」という生徒指導の三機能を全教育活動の基盤とし、取組を進めていく。そして、子ども一人一人が、「教室に居場所がある。」「支えてくれる仲間がいる。」「わかってくれる大人がいる。」「学校は、安心・安全な場所である。」と感じ、あらゆる人間関係の中で大切にされているという実感をもてるような学校にしていきたい。

2. 目指す学校像                      子どもが毎日楽しく通える学校

3. 目指す子ども像

- ・ 自ら進んで学習し，互いに高め合う子（知）
- ・ 互いに認め合い，自分も友達も大切にする子（徳）
- ・ 身も心も鍛え，命を大切にする子（体）

4. 今年度の重点                      主体的，対話的で深い学びのある授業の構築

5. 目指す子ども像の実現に向けて今年度特に力を入れたい取組

生徒指導の三機能を意識した学級経営を行う。また、新学習指導要領完全実施の年であるため、授業においては、「主体的，対話的で深い学び」となるよう、「思考ツール」や「知識構成型ジグソー法」等の手法を用い、協調学習を推進し、自分のおもいをしっかり伝え、互いに話し合い、高め合う力を伸ばしていく。また、小中一貫教育や幼小連携など校種間連携を意識した取組を進め、ポスター発表等を取り入れた探究的な活動を設定し、「言語活動の充実」を図る。

その中で、以下の点に特に力を入れて取り組みたい。

- (1) 「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的な人間関係を育成する」という生徒指導の三機能を基盤にした教育活動
- (2) 思考ツールや知識構成型ジグソー法を用いた「主体的，対話的で深い学び」となる協調学習の授業実践
- (3) 「西院の子 心でつなぐ5つのやくそく」の実践



6. 目指す教職員像                      教育者としての責任を自覚し，確かなビジョンと力量を持つ教職員